計算マスター (17) ヒントとこたえ

【ヒント】 小数のかけ算は、一番下の位どうしをそろえて書き、整数のかけ算のように計算をしてから、小数点の右にある位の数だけ、右から数えて小数点をうとう。

年 組 番

○ ひっ算で計算をしましょう。

(1) 4.5×8.4
 $= 37.8$

(1)		4.	5				(2)		3.	2	5
	×	8.	4					×		4.	6
		1	8	0					1	9	5
		3	6	0					1	3	0
		3	7.	8	0				1	4.	9

(2) 3.25×4.6
 $= 14.95$

(3) 819×2.6
 $= 2129.4$

(3)		8	1	9			(4)		2.	2	5
	×		2.	6				×		1.	8
		4	9	1	4				1	8	0
		1	6	3	8				2	2	5
		2	1	2	9.	4			4.	0	5

(4) 2.25×1.8
 $= 4.05$

(5) 0.82×0.6
 $= 0.492$

(5)		0.	8	2
	×		0.	6
		0.	4	9
			2	

計算マスター (18) ヒントとこたえ

年 組 番 名前

【ヒント】小数のかけ算は、一番下の位どうしをそろえて書き、整数のかけ算のように計算をしてから、小数点以下の位の数に気をつけて小数点をうとう。

○ ひっ算で計算をしましょう。わり算はわり切れるまで

(1) 0.038×0.5
 $= 0.019$

(1)		0.	0	3	8
	×			0.	5
		0.	0	1	9
				0	

(2)		2	1.	3	6
	×			1	0
		2	1	3.	6
				0	

(2) 21.36×10
 $= 213.6$

(3)		2.	9	
	4	1	1.	6
			8	
			3	6
			3	6
				0

(4)		1.	2	7	5
	4	5.	1		
			4		
			1	1	
				8	
				3	0
				2	8
				2	0
				2	0
					0

(3) $11.6 \div 4$
 $= 2.9$

(4) $5.1 \div 4$
 $= 1.275$

(5)				4.	3
	1.	6	8	7.	2
				2.	4
				6	7
				5	0
				5	0
					0

(5) $7.224 \div 1.68$
 $= 4.3$

【ヒント】わる数を整数にすると計算しやすくなります。「わる数の小数点をいくつつしたか」をたしかめて、同じだけ、同じ方向に、わられる数の小数点をうつそう。

計算マスター (19) ヒントとこたえ

【ヒント】 わる数を整数にすると計算しやすくなります。「わる数の小数点をいくつつつしたか」をたしかめて、同じだけ、同じ方向に、わられる数の小数点をうつそう。

年 組

○ ひっ算でわり切れるまで計算をしましょう

(1) $18.2 \div 0.35$
 $= 52$

(1)						5	2							
	0、	3	5.)	1	8、	2	0.							
				1	7	5								
						7	0							
						7	0							
							0							

(2) $1.872 \div 3.6$
 $= 0.52$

(2)				0.	5	2								
	3、	6.)	1、	8.	7	2								
			1	8	0									

(3) $3.6 \div 0.45$
 $= 8$

					7	2								
					7	2								
						0								

(4) $50 \div 1.25$
 $= 40$

(3)						8								
	0、	4	5.)	3、	6	0.								
				3	6	0								
						0								

(5) $7.02 \div 100$
 $= 0.0702$

(4)						4	0							
	1、	2	5.)	5	0、	0	0.							
				5	0	0								
							0							

(5)						0.	0	7	0	2				
	1	0	0.)	7.	0	2								
				7	0	0								
							2	0	0					
							2	0	0					
									0					

年 組 番 名前

1 ひっ算で計算し、商を整数で求め、あまりも求めましょう。

(1) $16.3 \div 7$

(1)						(2)							

(2) $8.4 \div 3.6$

2 ひっ算で計算し、商を四捨五入して小数第2位まで求めましょう。

(1) $6.26 \div 6.4$

(1)													

(2) $90.76 \div 1.4$

(2)													
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【ヒント】

小数のわり算では、小数点は計算しやすく打ちかえても、あまりを求めるときは、元の小数点の位置で考えて求めよう。

年 組 番

1 ひっ算で計算し、商を整数で求め、あまりも

(1) $16.3 \div 7$
 $= 2$ 残り 2.3

(1)			2		(2)			2	
	7	1	6.	3		3	6.	8.	4.
		1	4				7	2	
			2.	3			1.	2	

(2) $8.4 \div 3.6$
 $= 2$ 残り 1.2

2 ひっ算で計算し、商を四捨五入して小数第2位まで求めましょう。

(1) $6.26 \div 6.4$
 $= 0.978 \dots$
 $= 0.98$

(1)				0.	9	7	8	...
	6.	4.	6.	2.	6			
			5	7	6			
			5	0	0			
			4	4	8			
				5	2	0		
				5	1	2		
						8		

(2) $90.76 \div 1.4$
 $= 64.828 \dots$
 $= 64.83$

(2)				6	4.	8	2	8	...
	1.	4.	9	0.	7.	6			
			8	4					
			6	7					
			5	6					
			1	1	6				
			1	1	2				
					4	0			
					2	8			
					1	2	0		
					1	1	2		
							8		

【ヒント】

商を小数第2位まで求めるときは、商は小数第3位まで求めて「小数第3位を四捨五入」して求めよう。

年 組 番 名前

○ 計算をしましょう。

(1) $\frac{4}{28}$ を約分しましょう。

(2) $\left(\frac{5}{6}, \frac{3}{4}\right)$ を通分しましょう。

(3) $\frac{1}{3} + \frac{1}{5}$

(4) $\frac{1}{3} + \frac{5}{12}$

(5) $\frac{2}{3} + \frac{1}{2}$

(6) $2\frac{5}{6} + 5\frac{11}{12}$

計算マスター (21) ヒントとこたえ

年 組 番 名前

○ 計算をしましょう。

(1) $\frac{4}{28}$ を約分しましょう。 $\frac{1}{7}$

【ヒント】

約分は、できるだけ分母を小さい数にするよう、「分母と分子をそれぞれ同じ数でわりきれるかどうか」をたしかめよう。
「何の段の九九の答えか」を考えてみよう。

(2) $\left(\frac{5}{6}, \frac{3}{4}\right)$ を通分しましょう。 $\left(\frac{10}{12}, \frac{9}{12}\right)$

【ヒント】

通分は、それぞれの大きさを変えないで、共通な分母の分数になるよう、それぞれの分母と同じ倍の数だけ分子にかけよう。
「分母の数の段の九九」で考えてみよう。

(3) $\frac{1}{3} + \frac{1}{5} = \frac{5}{15} + \frac{3}{15} = \frac{8}{15}$

(4) $\frac{1}{3} + \frac{5}{12} = \frac{4}{12} + \frac{5}{12} = \frac{3}{12} = \frac{3}{4}$

(5) $\frac{2}{3} + \frac{1}{2} = \frac{4}{6} + \frac{3}{6} = \frac{7}{6}$ または $1\frac{1}{6}$

【ヒント】

分母を通分して計算しよう。また、帯分数を仮分数にしてから計算しよう。最後に、約分ができないか、もう一度たしかめよう。

(6) $2\frac{5}{6} + 5\frac{11}{12} = \frac{17}{6} + \frac{71}{12} = \frac{34}{12} + \frac{71}{12} = \frac{105}{12} = \frac{35}{4}$
 $= 8\frac{3}{4}$
 または $= 2\frac{10}{12} + 5\frac{11}{12} = 7\frac{21}{12} = 7\frac{7}{4} = 8\frac{3}{4}$

年 組 番 名前

○ 計算をしましょう。

(1) $\frac{3}{4} - \frac{2}{3}$

(2) $3\frac{2}{3} - \frac{1}{6}$

(3) $6\frac{1}{6} - 2\frac{5}{8}$

(4) $5\frac{1}{6} - \frac{13}{15}$

(5) $\frac{11}{12} - \frac{3}{4} + \frac{1}{15}$

(6) $3.4 - 1\frac{3}{10}$

計算マスター (22) ヒントとこたえ

年 組 番 名前

○ 計算をしましょう。

$$(1) \frac{3}{4} - \frac{2}{3} = \frac{9}{12} - \frac{8}{12} = \frac{1}{12}$$

【ヒント】

分母を通分して計算しよう。また、帯分数を仮分数にしてから計算しよう。最後に、約分ができないか、もう一度たしかめよう。

$$(2) 3\frac{2}{3} - \frac{1}{6} = \frac{11}{3} - \frac{1}{6} = \frac{22}{6} - \frac{1}{6} = \frac{21}{6} = \frac{7}{2} = 3\frac{1}{2}$$

または $= 3\frac{4}{6} - \frac{1}{6} = 3\frac{3}{6} = 3\frac{1}{2}$

$$(3) 6\frac{1}{6} - 2\frac{5}{8} = \frac{37}{6} - \frac{21}{8} = \frac{148}{24} - \frac{63}{24} = \frac{85}{24} = 3\frac{13}{24}$$

または $= 5\frac{7}{6} - 2\frac{5}{8} = 5\frac{28}{24} - 2\frac{15}{24} = 3\frac{13}{24}$

$$(4) 5\frac{1}{6} - \frac{13}{15} = \frac{31}{6} - \frac{13}{15} = \frac{155}{30} - \frac{26}{30} = \frac{129}{30} = \frac{43}{10} = 4\frac{3}{10}$$

または $= 5\frac{5}{30} - \frac{26}{30} = 4\frac{35}{30} - \frac{26}{30} = 4\frac{9}{30} = 4\frac{3}{10}$

$$(5) \frac{11}{12} - \frac{3}{4} + \frac{1}{15} = \frac{55}{60} - \frac{45}{60} + \frac{4}{60} = \frac{14}{60} = \frac{7}{30}$$

または $= \frac{11}{12} - \frac{9}{12} + \frac{1}{15} = \frac{2}{12} + \frac{1}{15} = \frac{1}{6} + \frac{1}{15} = \frac{5}{30} + \frac{2}{30} = \frac{7}{30}$

$$(6) 3.4 - 1\frac{3}{10} = \frac{34}{10} - \frac{13}{10} = \frac{21}{10} = 2\frac{1}{10}$$

または $= 3\frac{4}{10} - 1\frac{3}{10} = 2\frac{1}{10}$